



THE NEWS LETTER

日本歯科審美学会

Japan Academy of Esthetic Dentistry

2010^{2010年7月} Summer

Vol. 21

巻 頭 言

会長就任挨拶



日本歯科審美学会会長 佐藤 亨

2010年4月1日より私、佐藤 亨が、日本歯科審美学会第8代会長に就任しました。

1988年4月に歯科審美学会が発足以来、22年が経過しました。歯科審美学会(研究会)発足当時から数年間は、羽賀通夫初代会長のお膝元である私どもの講座(東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座)が学会事務局を務めていました。その時代の歯科医療は縦割りに専門分科し、それぞれの分野で深く掘り下げられて発展してきていの中で、歯科医師らの審美的認識の向上と社会全体の歯科審美への意識の啓蒙が不可欠でした。そこで本学会がその責務を担うべく発足しました。

本学会発足から22年経った今日、「歯科審美」という言葉は社会全体に浸透したと思います。中でも田上順次元会長、久光久前会長の時代に約3年間で17回行われたホワイトニングコーディネーター講習会では、約5,500名の受講者があり、5,109名(登録者数)のホワイトニングコーディネーターが誕生する大きな事業が行なわれました。この傾向と社会全体の流れは同様で、歯科審美=ホワイトニングという概念が定着してしまったとの危惧も聞こえてまいります。

歯科審美とは、単に歯を白くするだけでなく、歯の形態および配列状態、歯肉の形態および健康状態、歯、歯肉と口唇との調和など口元の美の色彩美、形態美と、咬合や口腔機能の機能美の回復と調和を図り、口元あるいは顔の総合的な美しさを提供するのための歯科医療であり学問です。

今後はこの歯科審美の本質を、約3,600名の会員と5,000人を越えるホワイトニングコーディネーターを通して社会に再び啓蒙する必要があると考えております。

今期は、千田 彰副会長(次期会長)、宮内修平副会長、齋木好太郎副会長、武井典子副会長にご就任いただきました。また従来の各委員会の統廃合とグループ化を行い、各委員会の横のつ

ながりを強め、より充実した学会運営ができるよう改革をしております。

国際交流関連では、本年4月27日にAACD (American Academy of Cosmetic Dentistry) と姉妹協定を締結しました。従来から交流があるKAED (韓国歯科審美学会)、IFED (国際歯科審美学会) との交流事業、久光 久アジア歯科審美学会会長、佐野英彦大会長のもと2012年7月に札幌で開催されるアジア歯科審美学会の運営など、国際交流に関しても再度しっかりとした運営方針を立てる必要があると感じています。

これらの再構築のため、会員の皆様には学会全体の運営が滞っているように感じられることかと存じます。軌道に乗るまでには少し時間がかかりますことをお許しいただきたく思います。

最後に、理事、評議委員の皆様をはじめ、会員の皆様に、学会活動に積極的にご参加していただくことをお願いし、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

平成22-23年度 委員会一覧

部門 ()内は統括者	部会	委員会	委員長/副委員長
国内外交流部門 (千田 彰)		国際渉外委員会	中村 隆志
		国内渉外委員会	福島 正義
		社会保険委員会	宮崎 真至
学術関連部門 (宮内 修平)	セミナー統括部会		日野 年澄
		セミナー委員会	日野 年澄
		技工士セミナー委員会	中込 敏夫
		デンタルカラーコーディネーター委員会	東光 照夫
		MTM研修委員会	三浦 廣行 (副)黒田 康子
	表彰関連部会	ホワイトニングコーディネーター委員会	真鍋 厚史 (副)古谷 彰伸
		表彰選考委員会	宮内 修平 (副)長岡 英一
	認定制度運営部会	表彰委員会	長岡 英一
		認定医審議会	富士谷 盛興 (副)香川 正之
		認定士審議会	富士谷 盛興
広報・編集部門 (寺田 善博)	広報・編集部会	「歯科審美」編集委員会	寺田 善博 (副)新海 航一
		「ホームページ/ニュースレター」委員会	佐藤 博信 (副)橋場 千歳
会員証カード部門 (齊木 好太郎)			齊木 好太郎

第21回日本歯科審美学会・学術大会のご案内



第21回日本歯科審美学会総会・学術大会は、平成22年8月27日、28日、29日の3日間、東日本有数の高原リゾート地 安比高原にて開催されます。メインテーマを『歯科審美の源流：21年目の発見』として、日々進歩を止めない歯科審美の流れの中にあつて、あえてその原点に立ち戻りここ岩手

の地で有益な時間を過ごしていただきたいと思っております。

学術大会は、1日目の午後にポスターセッションを開催し、2日目と3日目の講演、シンポジウム等の学術大会プログラムは午前7時から開始します。熱いディスカッションを交わしていただいた後、午後にはみちのくの夏を満喫していただくための様々な企画がありますので、ぜひ診療スタッフの方々とおそろいでご参加いただきたいと願っております。歯科審美の源流をみつめ、21年目の発見をする、そのような皆様の記憶に残る学術大会にしたいと思っております。安比高原で皆さまにお会いできるのを楽しみにしています。

【大会長】 石橋寛二(岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座 冠橋義歯補綴学分野)

【実行委員長】 武部 純(岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座 冠橋義歯補綴学分野)

【準備委員長】 大平千之(岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座 冠橋義歯補綴学分野)

【大会WEB】 <http://hitech-d.iwate-med.ac.jp/crbr/shinbi21%20new/home/index.htm>

【大会事務局】 〒020-8505 岩手県盛岡市中央通1-3-27

岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座冠橋義歯補綴学分野

Tel: 019-651-5111(内4127) Fax: 019-654-3281

E-mail: shinbi21@iwate-med.ac.jp

.....

【学会プログラム】

●8月27日(金)

一般演題(17:30~18:30) <ポスター討論>

.....

●8月28日(土)

会長講演(7:00~7:30)

『口腔の美—形態と機能—』

講師：佐藤 亨(日本歯科審美学会 会長)

教育講演I (7:30~8:30)

<日本歯科審美学会認定医・認定士講習会>

『これまで、そしてこれからの審美修復治療—Past Present and Future of Esthetic Dentistry—』

講師：桑田正博(東京都)

教育講演II (8:30~9:30)

<日本歯科審美学会認定医・認定士講習会>

『Fundamental Consideration of Esthetic Dentistry—What I learned from Dr.Lloyd Miller through his last case—』

講師：Shigemi Ishikawa-Nagai (Harvard School of Dental Medicine)

特別講演 (9:30~10:30)

『日本の歯科医療の現状と将来』

講師：小川 彰(岩手医科大学 学長)

シンポジウムI (10:30~12:30)

<日本歯科審美学会認定医・認定士WC講習会>

『21年目のキセキ—審美治療のlongevityを考える—』

講師：齋藤季夫(東京都)、桃井保子(鶴見大学)、福島俊士(鶴見大学)、黒田康子(大阪府)

.....

●8月29日(日)

大会長講演 (7:00~7:30)

『歯冠色を測る』

講師：石橋寛二(岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座 冠橋義歯補綴学分野 教授)

シンポジウムII (7:30~9:30)

<日本歯科審美学会認定医・認定士WC講習会>

『カラーマネージメントを科学する』

講師：大河雅之(東京都)、佐々木正二(宮崎県)

海外招待講演 (9:30~11:30)

『Cosmetic and Esthetic Dentistry:Understanding the differences and its applications』

講師：Wynn Okuda (American Academy of Cosmetic Dentistry)

『Esthetic & functional rehabilitation for reduced vertical dimension』

講師：Kung-Rock Kwon (Korean Academy of Esthetic Dentistry)

シンポジウムIII(11:30~13:30)

<日本歯科審美学会認定医・認定士講習会>

『CAD/CAMの最前線』

講師：新谷明喜(日本歯科大学)、風間龍之輔(東京医科歯科大学)、
山下恒彦(ロサンゼルス)

シンポジウムIV(11:30~13:30)

<日本歯科審美学会認定医・認定士講習会>

『インプラントのティッシュマネージメント』

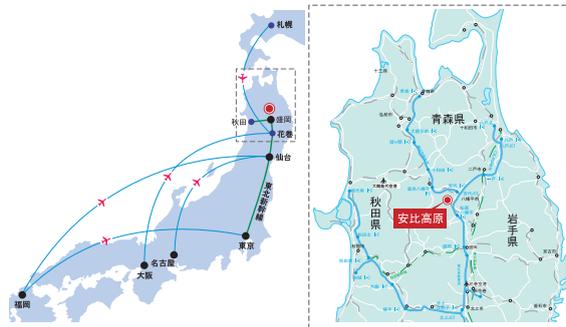
講師：西堀雅一(東京都)、木村健二(千葉県)、柏井伸子(東京都)

【ソーシャルプログラム】

●8月27日(金) ウェルカムレセプション

●8月28日(土) 懇親会

【会場のご案内】



■会場：安比高原 安比プラザ 及び 安比リゾートセンター
〒028-7395 岩手県八幡平市安比高原
※お問い合わせ連絡先 ホテル安比グランド (Tel. 0195-73-5011)

【交通機関のご案内】

- 鉄道 ○東京駅～盛岡駅 (JR東北新幹線 最速2時間21分)
・盛岡駅～安比高原駅 (JR花輪線 約1時間)
※安比高原駅からはホテル送迎車で約5分
- 飛行機 ○大阪～花巻 (1時間25分)
○札幌～花巻 (1時間15分)
・花巻空港～盛岡駅 (高速バス 53分)
・盛岡駅～安比高原駅 (JR花輪線 約1時間)
※安比高原駅からはホテル送迎車で約5分
- 自動車 ○東北自動車道 松尾八幡平IC または 安代IC より 15～20分

※交通機関のご案内は安比高原HP「アクセス」からもご覧いただけます。
※大会期間中、盛岡駅⇄安比高原間のシャトルバスの運行を予定しております。
運行時間・乗車場などの詳細は、決定次第、大会ホームページにてご案内させていただきます。

国際学会のご案内

第12回アジア歯科審美学会開催のご案内 (2012年7月・札幌／第23回日本歯科審美学会学術大会併催)

この度、第12回アジア歯科審美学会(第23回日本歯科審美学会学術大会併催)を札幌にて開催の運びとなり、大変光栄に感じております。現在、当教室(北海道大学大学院・歯学研究科・口腔健康科学講座・歯科保存学教室)で、佐野英彦教授以下、教室員が大会準備を始動したところです。日程は2012年7月19日～22日で、札幌コンベンションセンターでの開催予定です。これまでの審美学会の実績を参考にしながら、より一層盛会とするべく会場の規模や配置を検討しているところであります。

7月の札幌はとても過ごし易く、一年を通して最も魅力ある季節です。是非、この機会により多くの皆様に北海道の素晴らしさを少しでも体験して頂くとともに、日頃の臨床や研究の成果を発表して、有意義な学会活動に結びつけることができるお手伝いできればと教室員一同願っております。

去る5月には、当教室からスタッフ数名がマレーシアで開催された第11回アジア歯科審美学会学術大会に参加しました。学会開催のために、少しでも多くの情報を収集したいという願い以上に、さまざまな貴重な体験をすることができました。赤道直下の暑さに負けない熱気あふれた会場の雰囲気や熱心な質疑応答に、参加したスタッフ一同感動を胸に帰国いたしました。多くのアドバイスを下さった先生方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

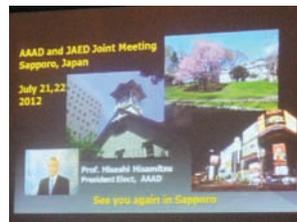
発表等に関するお問い合わせは、下記までご連絡いただければ幸いです。より多くの皆様に参加できるように工夫していきたいと考えておりますので、お気軽にご相談頂きますようお願いいたします。

.....

【連絡先】

北海道大学・大学院歯学研究科・口腔健康科学講座・歯科保存学教室
〒060-8586 北海道札幌市北区北13条西7丁目
Tel.011-706-4261 Fax.011-706-4878

(担当：野田 守・田中 享)



桑田正博先生・AP名誉会員就任

桑田正博先生アメリカ補綴歯科学会名誉会員就任記念祝賀会

日本歯科審美学会副会長 齊木好太郎

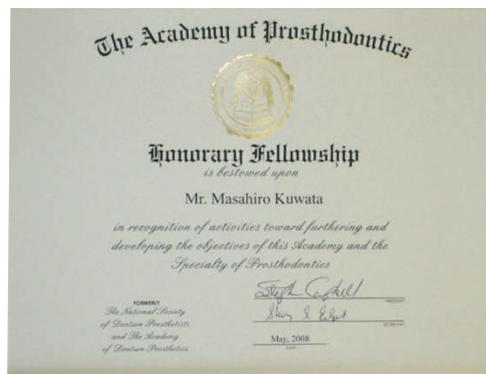
日本歯科審美学会の前副会長、現監事であります桑田正博先生が、米国補綴歯科学会 (Academy of Prosthodontics 略称 AP) の名誉会員に就任され、昨年アメリカ・シカゴで開催された AP の第 91 回大会で、その名誉会員授与式が行われました。

この名誉会員は、AP 90 年の歴史の中でも最高位の賞で、今までに 9 名であり、歯科医師以外では桑田正博先生とインプラントを発表されたブローネマルク (Per-Ingvar Branemark) 先生だけが就任されています。桑田先生は、「P.F.M (金属焼付ポーセレン)」等を通して歯科界で果たしてきた貢献を高く評価されたもので、日本の歯科関係者とりわけ我々歯科技工士にとってまさに誇りに思える快挙であります。

それを祝して、2009 年 9 月 5 日 (土) にホテルグランドパレス (東京都) において、「桑田正博先生 Academy of Prosthodontics 名誉会員就任祝賀会」が、本学会理事でもあります末瀬一彦先生を発起人代表として、来賓の方々も含めて約 200 以上の参加者により盛大に開催されました。

当日は、江上勝二氏 (愛歯技工専門学校同窓会会長) の開会の辞から始まり、末瀬一彦発起人代表、岡野京二氏 (愛歯技工専門学校副校長)、日高勝美氏 (厚生労働省医政局歯科保健課課長) や江藤一洋氏 (日本歯科医学会会長)、中西茂昭氏 (日本歯科技工士会会長) が来賓としてそれぞれ祝辞を述べられました。

その後、桑田先生が登壇し謝辞の中で渡米時の金属焼付ポーセレン開発のエピソードや授賞式の模様などを話され、また、私がこのように仕事のできたのも、日本で歯科技工士の資格を



得ていたため、日本の歯科技工士制度が世界に誇りうるものであることの証だと思いつつも、日本の高いレベルの歯科技工教育であることを強調されました。そして、今後は世界の人たちに日本の歯科技工を役立てていきたいと抱負と今後の後進の指導の重要性を述べられました。

最後に、APの第91回大会の開催概要と桑田先生の名誉会員授与式の模様がスライドショーで吉永修氏(熊本県宇城市/吉永歯科医院)より詳しく紹介され、2時間あまりの祝賀会は盛会のうちに閉会しました。

今回の「桑田正博先生アメリカ補綴歯科学会名誉会員就任」は、祝賀会に参加者された方はもとより、歯科関係者にとって世界に誇れることであり、今後の桑田先生の益々のご活躍を祈念すると共にそれに続く方々の大きな力になることを感じさせられる祝賀会でした。



アメリカ美容歯科学会報告

第26回アメリカ美容歯科学会に参加して

東京都開業 椿 智之

2010年4月27日～5月2日まで、米国Texas州のGrapevine (Dallasから車で約30分) においてアメリカ最大の審美学会であるアメリカ美容歯科学会(AACD)の第26回大会が開催されました。

今回の大会からAACDのロゴも一新され、新生AACDが強調されていました。そして今回の学会は、AACDとJAEDとの姉妹学会としての締結式を行う記念すべき学会でもあります。そのため日本歯科審美学会からは佐藤 亨会長、千田 彰副会長、中村隆志国際渉外委員長の3名が出席されました。

この学会は会員数約8,000名のアメリカ最大の審美学会ですが、世界的な不況の影響もあってか、参加者は年々減少しており、今年も残念ながら2,000名弱の参加にとどまりました。

日本からも私と学会からの3名を含めて6名のみでした。ピーク時は2005年のNashville大会で、6,000名以上の参加があったほどです。Registrationの長い行列はすでに名物になっており、ほとんどのレクチャーが学会前にfullになったり、抄録やコンgresバッグが不足して入手できない参加者が出たりと、かなり混乱していたのを覚えています。

この状態を知っている参加者は、コンgresバッグが簡素なものになっていたり、恒例だったワインパーティーが中止されるなど、経費削減の影響が随所に垣間見えた今回の大会は、少



左より中村隆志先生(国際渉外)、佐藤 亨会長、筆者、ひとりおいて千田 彰副会長

し残念でした。

学会は27日の火曜日から始まり、5月1日の土曜日まで、レクチャーとハンズオンセミナーなど約100題のセッションがあり、その中から自分の好きなセッションを選んで出席します(今回は当日でも十分に入ることができました)。しかし、その中でもDr.John KoisとDr.Newton Fahl Jr.のOne Day Courseは立ち見が出るほどの人気でした。

学会も佳境に入った4月30日の早朝のGeneral Sessionの前に、日本歯科審美学会(JAED)とアメリカ美容歯科学会(AACD)の姉妹協定の締結式が公式に行われました。

まずAACDの役員がステージ上に現れ、アナウンスで「今日はアメリカと日本の審美学会にとって歴史的な日になります。」という紹介後、佐藤 亨会長、千田 彰副会長、中村隆志国際渉外委員長の3名が登壇されました。それぞれの会長のスピーチ後、約400名の出席者が見守る中、日本とアメリカの国旗の映像をバックにして、佐藤 亨会長とAACD会長が締結の書類に調印しました。約10分間の式典でしたが、歴史的な瞬間に立ち会えたことを誇りに思います。

アメリカ美容歯科学会との姉妹協定の締結は、日本歯科審美学会の発展にとっても大きな意味を持つと思われます。この姉妹協定締結を機に、アメリカから多くの有名な先生を日本にお招きし、今の日本の閉塞した歯科医療に新鮮な風を入れてもらいたいと期待しています。



AACDでの締結式の様子

アジア歯科審美学会報告(1)

第11回アジア歯科審美学会・2010年学術大会報告

愛知学院大学歯学部保存修復学講座 富士谷盛興

2010年5月14-17日、マレーシアのクアラルンプール(Prince Hotel & Residence Kuala Lumpur)で開催された、第11回アジア歯科審美学会(第7回マレーシア歯科審美協会(MAAD)学術大会との共催)に参加してきました。メインテーマは“High Definition Aesthetic Dentistry”ということで、文字通り高品位の歯科審美を求めて多数のプログラムが展開されました。

アジア歯科審美学会(AAAD)は、Sim会長(マレーシア・任期は本大会まで、現在は2010-2012会長として久光 久会長)の主導で活動を行っており、本大会はMAADのYeo会長を中心に開催されました。ちなみに、ご記憶の皆様も多いかと思いますが、日本歯科審美学会は平成6年の第5回学術大会(鹿児島大会：長岡英一実行委員長)で第3回AAAD学術大会を、また最近では平成16年の第15回学術大会(Global Esthetic Forum 2004 @NAGOYA：千田 彰大会長)で第8回AAAD学術大会をホストしております。

参加者は約340名(マレーシア200名、インドネシア80名、日本30名、他)でした。5名のKeynote speakerやアジア各国の代表による講演があり、日本からは中村隆志先生(国際渉外)が講演されました。そのほかに、Hands-Onセミナーや一般のオーラル(18題)やポスター(12題)セッションも開催され、日本から多数の先生が発表されました。



Kuala Lumpur市街・KLタワーよりTwinタワーを望む

アジア歯科審美学会は、日本歯科審美学会も中心となり、アジア諸国の代表的な臨床家とともに「アジアの人々」のための歯科審美の発展と貢献を意図して1990年に設立されました。近隣のアジア諸国をはじめ、インド、トルコ、中央アジア諸国(ウズベキスタンなど)までの地域をカバーする大規模の国際学術団体に発展しております。

AAADの現会長(2010-2012)は、前述しましたように本学会前会長の久光 久先生です。したがって、次回の第12回アジア歯科審美学会は日本歯科審美学会がホスティングし、第23回日本歯科審美学会と併催(佐野英彦大会長・2012年7月19-22日・札幌)になります。本学会の国際渉外委員として、会員の皆様のご協力と多数のご参加を切にお願いする次第でございます。今後とも、どうか宜しくお願い申し上げます。



参加した日本の先生たち



AAAD 2010-12執行部・左端からSim前会長、Won次期会長、久光 久会長、2人おいて中村隆志事務局長

アジア歯科審美学会報告(2)

AAADポスターアワードを受賞して

昭和大学歯学部歯科保存科美容歯科 古川匡恵



2010年5月13日から17日までマレーシア・クアラルンプールで開催された第11回AAAD (Asian Academy of Aesthetic Dentistry:アジア歯科審美学会) においてAAADポスターアワードを受賞させていただきました。

発表はCompetitionとなっており、約1か月前からの書類選考後、選出された10名の発表者が発表を行いました。審査はポスターの前で3名の審査員に10分間の英語での口頭発表の後、10分の質疑応答を行うポスタープレゼンテーション形式でした。

私は「Patients' thoughts about esthetic dentistry」というタイトルで、昭和大学歯科病院美容歯科に来院する患者の中から特に女性に的を絞り、美容歯科に対してどのような意識を持つのか、また歯科だけではなく美容に対する意識などを調査し、日本人特有の患者心理すなわち、美容に強く興味があるが口腔内の美に関してはまだ消極的であると考察しました。審美歯科において、患者心理を考慮した上での治療は重要であり、その点に注目した点が評価につながったのではと思います。

発表の翌日にポスターアワードとして1位のみ発表され、賞状と盾を表彰された時は深く感動しました。今後は今回の受賞を励みとして、なお一層臨床・研究に邁進していきたいと思っています。最後になりますが、指導していただいている真鍋厚史教授、久光 久教授、医局員の先生方にこの場をお借りして心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



委員会報告

総務報告

平成22年4月22日に第1回常任理事会、5月27日に第1回理事会および各種委員会が開催され、佐藤 亨会長のもとでの、本学会の活動が開始されました。

平成22年3月31日時点で、会員数は3,583名でその内訳は、A会員(歯科医師) 2,414名、B会員(歯科衛生士・歯科技工士・その他) 1,141名、法人会員28社です。昨年1年間で、A会員、B会員、それぞれ300名以上の新入会があり、本学会はますます規模が大きくなっております。

学会の急速な会員増に合わせて、本学会がより効率よく運営されるよう、委員会の統廃合等が行われました。これにより、千田 彰副会長が国内外の渉外、宮内修平副会長が学術、齊木好太郎副会長が歯科技工士関連事業および会員カード発行、武井典子副会長が歯科衛生士関連事業をそれぞれご担当いただき、寺田善博編集委員長には機関誌「歯科審美」とホームページおよびニュースレターとのより密接な連携を心がけていただくことになりました。

なお、本年後の学術大会は石橋寛二大会長(岩手医科大学)のもと8月27~29日に、岩手県安比高原で開催されます。奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

また、平成23年度は、10月7~9日に奈良市(末瀬一彦大会長・大阪歯科大学)で、平成24年度は7月20日~22日に札幌市(佐野英彦大会長・北海道大学歯学部、アジア歯科審美学会と併催)で開催の予定です。

皆さまのお手元には、学会事務局から今年度の会費納入のお願いが届いているかと存じます。本学会の会費納入率は残念ながら決して高くありません。会員の皆様のご協力を心からお願い申し上げます。
(総務担当常任理事 大槻昌幸)

広報・編集委員会 歯科審美編集部会

今期は佐藤 亨会長のお考えで、編集委員会と広報関連の委員会が統合され、これまでの編集委員会は、広報・編集委員会「歯科審美」編集部会として活動していくことになりました。機関紙である「歯科審美」とニュースレターにホームページをリンクさせ、歯科審美学会の広報活動がこれまで以上に活発に行えるものと思っております。

前回のニュースレター以降のご報告事項としましては、「歯科審美・第22巻2号」を平成22年3月に発行致しました。特集記事としては、「審美歯科における歯科衛生士の役割」をとりあげ、執筆は益田正子先生、伊藤明子先生他1名に依頼致しました。

これまでは編集委員会開催後にニュースレターの原稿を書い

ていたのですが、今回は発行日の関係で、「歯科審美」編集部会の前に原稿を書いておりますので詳細は未定ですが現時点でわかっている範囲で原稿を書かせて頂きます。

平成22年6月22日に今年度第1回「歯科審美」編集部会が開催されます。主な協議事項は、第23巻1号の編集になります。特集については、まだテーマは決まっておきませんが、これまでと同様に特集記事を掲載したいと思っております。また「審美歯科関連の外来紹介」につきましても、これまで16大学に執筆をお願い致しましたので、今回はまだ執筆をお願いしていない大学をお願いしたいと思います。今後も引き続き各大学に執筆のご依頼をさせて頂きたいと思っておりますので、まだ執筆されていない大学には今後執筆依頼をさせて頂きたいと思しますので、よろしくお願い申し上げます。

また、今回は「AACDから投稿された症例報告」も掲載する予定です。相互に投稿論文を掲載することになっておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

今後とも学術大会で発表された研究につきましては積極的に「歯科審美」に投稿して頂きますようお願い申し上げます。

これからも「歯科審美」編集部会としては紙面充実に努力していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いする次第です。
(部会長 寺田善博)

.....

国際渉外委員会

本年度から佐藤 亨会長のもとで、より積極的に海外との交流を進めて行きたいと考えております。

まず大きなお知らせとして、日本歯科審美学会(JAED)とAmerican Academy of Cosmetic Dentistry(AACD)との姉妹協定の締結があげられます。AACDは会員数8,000名弱で、歯科審美の分野では世界最大規模の学会です。日本歯科審美学会と同様に、会員は歯科医師だけでなく、歯科衛生士や歯科技工士など歯科の関係者により構成されています。昨年5月のAACD年次大会(ハワイ)でJAEDとの交流の促進が提案され、本年になり正式に協定を結びました。4月のAACD年次大会(テキサス)で、調印式を行いました(写真1:調印式の模様はYouTubeでご覧いただけます。AACD、JAEDで検索願います)。具体的な交流として、まず相互の学会や雑誌における演者や論文の交換を予定しています。8月のJAED岩手大会には、AACDから演者(Dr. Wynn Okuda)をお招きして講演をお願いしています。アメリカにおける最新の歯科審美を体験いただけたと思います。

日本歯科審美学会は組織として、AAAD(アジア歯科審美学会)とIFED(国際歯科審美学会)に加盟しています。AAADに関して

は、本年5月にクアラルンプールでマレーシアの歯科審美学会との共催の形で学術大会が開催されました。ここでは、海外の著名な5名のキーノートスピーカーとアジアの国々から選ばれた演者が講演を行いました。クアラルンプール大会の時点で、久光前JAED会長がAAADの会長に就任されました。次回のAAAD大会は2012年の7月に札幌(大会長 佐野北大教授)で開催されます。日本の歯科審美学会との共催になります。もう一つのIFEDは2011年11月にリオデジャネイロで開催される予定です。機会があれば、日本の歯科審美学会会員の皆様もAAADやIFEDに多数参加いただけることを願っております。

(委員長 中村隆志)



写真1：AACDとの調印式のリハーサルにて。佐藤会長、千田次期会長、国際渉外中村とSesemann AACD会長。調印式の模様はYouTubeで放映中(AACD、JAEDで検索)。



写真2：アジア歯科審美学会(AAAD)の理事会で、Sim Tang AAAD前会長と久光AAAD新会長。久光会長の任期は次回のAAAD札幌大会(2012年)までの約2年間です。

.....

国内渉外委員会

国内渉外委員会は歯科審美の社会および歯科界への活動普及の役割を与えられています。また、宮崎真至理事が担当される歯科関連学会および社会保険関連への対応も含まれております。今年度は歯科界への普及事業として歯科衛生士と歯科技工士の養成機関や歯科衛生士会等の団体等への出張講義を検討しております。その理由は歯科衛生士を対象にしたホワイトニングコーディネーター制度に対する高い関心と社会的影響を見ますと、「歯科審美学」と「審美歯科」を正しく理解していただくことが喫緊の課題と考えるからです。出張講義にかかる実費はすべて学会が負担することになりますが、歯科衛生士養成校だけでも全国に158校あり、すべての学校に対応することは困難です。そこで学会からの働きかけに対して講師派遣の依頼があった場合に対応したいと思っております。講師は学会役員(理事・評議員)にご担当いただきたいと考えておりますので、どうかご協力の程よろしくお願い申し上げます。(委員長 福島正義)

社会保険委員会

この委員会の主な活動は、診療報酬改定に関して、厚生労働省へ歯科医療技術評価提案書を提出するためのすり合わせをすることです。残念ながら、本学会独自の提案項目というものなかなか見当たらないのが現状ですが、他学会と協調することによって、現在の歯科診療報酬の評価項目の再検討あるいは新たに歯科診療報酬で評価すべき項目の検討などを行っていくことも大切なものとなるはずで、とくに、各学会が独自に策定している歯科医療技術評価提案書に関しては、複数学会がこれにかかわることによってブラッシュアップすることが望まれています。

医科では、外科系学会社会保険委員会連合(外保連)という団体が、手術診療報酬に科学的根拠を与え、外科系診療における適正な診療報酬を学術的に検討することを目的として1967年に発足しました。平成22年の段階で加盟学会数は88となっています。医科と歯科とを同一視することは難しいですが、このような動きは歯科でも開始されたところから、今後、社会保険委員会の役割も重要性を増してくるかもしれません。

本年度前半における具体的な活動として、本年4月27、28日の二日間にわたって、「日本歯科医学会ワーク・ショップ」への参加でした。その開催趣旨としては、日本歯科医学会に所属する専門・認定分科会の関係者が一堂に集い、歯科医療技術に関する学術的根拠の提供に資する討議を行うことであり、各分科会間の情報の共有と連携強化を図るというものです。具体的には、すでに提出された歯科医療技術評価提案書のブラッシュアップおよび外保連から講師を招いての講演会などでしたが、診療報酬改定に対する学会のあり方について、継続した論議も必要であると感じたものでした。 (委員長 宮崎真至)

認定審議会委員会

佐藤 亨会長ならびに宮内修平副会長(学術担当)のご指示のもと、新メンバー歯科医師5名、歯科技工士2名、歯科衛生士2名の認定審議会委員が、新規および更新申請の書類審査や新規申請者のケースプレゼンテーション審査などの業務を行っています。また、認定制度のあり方検討や認定講習会の企画などの業務に加え、新たに認定医・認定士資格を取得して頂くための環境作り、認定取得後のフォローアップ事業の準備、さらに認定試験(症例発表)の公開化への準備も進めていく予定です。しかし残念ながら、日本歯科審美学会員数に比べ認定医および認定士の数がまだまだ少ないのが現状です。本学会の趣旨をご理解の上、是非ともご申請くださいますようお願い申し上げます。申請に当

たりましては、本学会のホームページをご参照頂くか、(財)口腔保健協会日本歯科審美学会事務局までお問合せをお願いします。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

認定審議会の実施状況

- 1) 平成22年2月11日(木) 平成21年度 第4回合同会議
 1. 第26期認定医試験(プレゼンテーション・口頭試問)の結果：5名合格、2名保留
 2. 第25期認定医再試験・第10期認定士再試験の結果：認定医1名合格、1名保留、認定士1名合格
 3. 更新認定医および認定士の書類審査：認定医1名、認定士1名合格
- 2) 平成22年5月27日(木) 平成22年度 第1回合同会議
 1. 第27期新規認定医、第11期新規認定士書類審査
 2. 更新認定医書類審査の結果：4名全員合格
 3. 更新認定士書類審査の結果：歯科技工士3名、歯科衛生士1名合格
4. 次回認定医・認定士試験 8月4日(水)、5日(木)実施
(委員長 富士谷盛興)



セミナー委員会

本年度よりセミナー委員会は委員長が日野年澄、委員は越智守生、柵木寿男、有田博一、古谷彰伸、六人部慶彦、若林一道というメンバーでスタートすることになりました。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さてセミナーには一般歯科医師、技工士、衛生士に対し歯科審美を啓蒙し、正しい知識を普及させるという重要な目的があります。歴代の委員長ならびに委員会メンバーの方々各地で積極的にセミナーを開催してこられた結果、歯科審美のすそ野は確実に広がり、今日の会員増加という形で実を結んできました。これまでの大変なご尽力に心から敬意を表しますとともに、後を任された私たち新セミナー委員会、このよい流れを止めてしまわぬよう努力していきたいと考えております。

しかし一方、会員やホワイトニングコーディネーターの急速な増加に伴い、セミナーは先の目的から、会員やホワイトニングコーディネーターのフォローアップに軸足を移す必要が出て

きました。非会員は会員に、会員は認定医、認定士に導くこと、会員全体のレベルアップをはかり、歯科審美学の高度な専門的知識や技術を持つ歯科医師、技工士、衛生士を育てることが今後のセミナー委員会に課せられた重要な課題だと考えております。学会新執行部ではこれをセミナー委員会だけの課題ではなく、学会全体の問題としてとらえて積極的に取り組む姿勢を打ち出し、これまでそれぞれ独自に活動をしていた学術関連の各種委員会を再編するとともに、学術関連の全委員会からなる「セミナー全体委員会」を組織し、委員会間の縦横の連携を密にして効率のかつ効果的な活動を進めていくこととなりました。

こうした背景から、セミナー委員会では総合テーマを「これからの歯科審美の道標」とし、今後学会が進むべき道にかなった、先進的で、より専門性の高い歯科審美学を提示できるようなセミナーを企画していく予定をしております。皆様にはぜひセミナーにご参加くださいますようお願い申し上げます。

(委員長 日野年澄)

.....

ホワイトニングコーディネーター委員会

去る5月27日(木)に開催され、今期委員としてご快諾頂いた、東光、椿、大槻、永井、星野、大森(ご欠席)、永瀬、古谷(副委員長)各先生方の自己紹介後、早々多くの協議事項を検討して頂き活発なご意見を頂きました。主な議題はこれからのWC講習会の方向性を中心に検討いたしました。方向性については佐藤 亨会長から詳細なご説明があり今までのホワイトニングだけに特化した衛生士への講習ではなくホワイトニング以外の口腔内の審美性への考慮を強調するような講習会をするようにとの指示を頂きました。これは前委員長佐藤 孝先生、久光 久先生のご尽力により築き上げられた結果を踏まえさらに衛生士への審美に対する教育を充実させる必要不可欠な提案と考えております。また、講習会の開催予定日はセミナー委員会で他のセミナーと重複しないよう配慮することとしました。その他、講習会用教本等についても検討する予定です。

短い期間ですがこの目標に向かい努力する所存です。会員の先生方におかれましては何卒ご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

(委員長 真鍋厚史)

- 平成22年度 第1回ホワイトニングコーディネーター講習会
【日時】平成22年9月26日(日) 【場所】ベルサール汐留
【同時開催】『DrとWC取得のハイクラスDH向けホワイトニングアドバンスセミナー』 ※詳細はHPに順次アップいたします。

歯科技工士セミナー委員会

昨年度は、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士のチーム医療による審美歯科治療を重要視し、それらを啓蒙するべくセミナーの企画・運営をしてきました。そして、大きな成果をあげてきました。

さらには、歯科衛生士の方々のさらなる審美歯科での活躍のために「ホワイトニングコーディネーター」養成プログラムを実施し、これはホワイトニングコーディネーター制度として、すでに多くの方々に認知されています。

歯科技工士部門としては昨年度の秋、日本を代表する歯科技工士であり、本学会の歯科技工認定士でおられる、石川功和先生・小田中康裕先生・西村好美先生が講師を務め、さらには次世代を担う若手の歯科技工士3名にも講師として御登壇をいただいた「NEXT!次世代の歯科技工士を育成する」をセミナーとして開催させていただきました。また、同じ時期に歯科技工認定士が編著者となり、「審美歯科技工の原理・原則」も別冊として発行いたしました。そしてそこでは、審美歯科技工の要とも云うべき「形態・色彩・機能の調和」の理論と実際、さらにチーム医療の中でそれらをどのように反映をさせていくのかという論議が展開されました。

これらの活動は、本学会また、歯科技工認定士の名を広く認知していただくことに大きく貢献をしたと考えておりますし、高水準な審美歯科技工を実践するためにも、より多くの歯科技工士にこの資格の取得を目指していただきたいと考えております。

今後も、各委員会との強い連携のもと、「認定医・認定士」や次世代を担う若き歯科技工士を交えながら歯科技工士セミナーを企画してゆきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。
(委員長 中込敏夫)

.....

デンタルカラーコーディネーター委員会

審美歯科にもっとも必要とされる要素のひとつ「色」についてのエキスパート養成を目的として、デンタルカラーコーディネーター(DCC)委員会は設立されました。

メンバーは東光照夫、末瀬一彦、池島 巖、田中 誠、吉田周平の5名です。

内容は、チェアサイドとラボ間の色情報伝達、色彩の知識、最新の審美的シェードテイク、審美的コンポジットレジン修復などを取り上げる予定です。
(委員長 東光照夫)

MTM研修推進委員会

2年前に発足いたしましたMTM研修推進委員会では、昨年、一昨年の2度に渡りMTM治療に関するアンケート調査を実施させていただきました。

アンケート調査では必要とする知識や技術、高頻度治療やマネジメントなどに関するご意見を伺うことができました。この調査結果の一部は、本年発行されました「歯科審美 第22巻2号」に調査論文として掲載しております。現状会員の皆様がMTM治療どのように捉えているか、参考にさせていただければ幸いです。論文には掲載できませんでしたが様々なご意見などもあり、調査結果を踏まえ、今後の委員会活動に繋げていきたいと思っております。

そのひとつとして本年度から、MTM治療に関するQ&A集を編纂する方向で検討しております。初期治療の一環として行われるMTM治療ではありますが、適用範囲は決して狭くはなく、現状では各分野の専門的知識や技術を統合して治療を行っていかなければならないことから、Q&A集のようなものが会員の皆様に役立つのではないかと考えております。本件に関しましても、会員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

(委員長 三浦廣行)

会員証カード委員会

報告とお願い

会員証カード委員会では、すでにご報告させて頂いておりますように「会員証カード」発行の準備をおこなっているところです。カードの発行に伴い本委員会はその役割を終え、日本歯科審美学会ホームページの「会員専用ページ」での会員(個人)情報の確認・変更、学術大会・セミナー等の参加歴の構築へとシフトし、ホームページ・ニュースレター作業部会長の佐藤博信先生のもとで「会員証カード」が活かされるようその構築作業を進めているところです。

カードの発行は、今年8月の盛岡での学術大会で活用できるよう、会員の皆様方のお手元にお届けできるようにと発行準備しております。

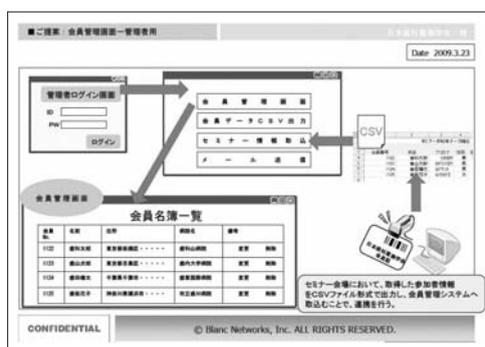
カードと共に、「ID」と「パスワード」をお知らせ致します。それをもって本会HPの会員専用ページ「マイページ」にログインすることにより個人情報の確認や変更、パスワードの変更がおこなえますので、住所変更等が生じた場合にはこちらから速やかに変更をお願い致します。

また、過去の学術大会やセミナー等の参加履歴の閲覧、それに伴う付与された単位数の確認もできます。この各参加履歴は、

各催事に参加した際にカードを会場に設置されたリーダーを通すことで参加確認され参加履歴に付加と共に単位数が加算されます。そして、各種認定制度の申請資格あるいは更新資格に必要な単位数が確認できるようになっております。ただし、過去の参加履歴についてはデータとして構築されておりませんので、各種認定制度の申請あるいは更新をされる方は、それぞれの制度規則・制度施行細則に沿った必要書類をもって申請をおこなって頂きたく思います。

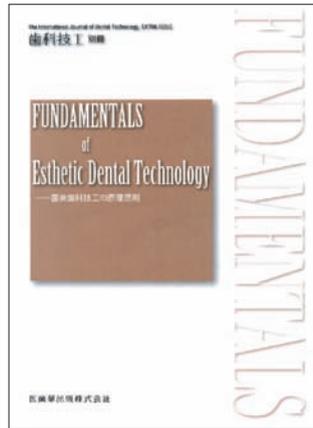
今後の本会の各催事の参加等は、このカードによって参加確認と参加履歴に加算されますが、上記申請資格に必要な本会発表や関連学会への発表や参加は本カードでは管理できませんので必要書類の保管、ご準備をお願い致します。

いずれにしても、お送りする「会員証カード」は、本会会員の証とともに同封の「カード規約」「会員証カードご使用についてのご案内」をご一読頂きカードの有効活用をお願い致します。
(委員長 齊木好太郎)



歯科技工士部門

前号のニュースレターにて、「歯科技工士部門活性化委員会」の活動報告をさせて頂きましたが、今年度からは、それを継承して「歯科技工士部門」として統合した活動する方向となりました。



昨年度「歯科技工士部門活性化委員会」によって企画された、日本歯科審美学会認定士編集および著による「審美歯科技工の原理原則」(FUNDAMENTALS of Esthetic Dental Technology)が医歯薬出版社「歯科技工」別冊として昨年11月に発行された。

これは、石川功和氏、小田中康裕氏、中込敏夫氏、西村好美氏の日本歯科審美学会歯科技工士部門各認定士が企画・編集をし、著者も歯科技工士

部門認定士によって纏められている。

企画趣旨としては、日本歯科審美学会会則や「教授要綱」にも示されている、「歯科審美学とは、顎口腔における形態美・色彩美・機能美の調和を図り、人々の幸福に貢献する歯科医療のための教育および学習に関する学問体系である。」を基本として、それを歯科技工分野での形態、色彩、機能の調和をいかに図るかを述べたものである。

具体的内容としては、序論の総論(概念)である「歯科審美と歯科技工、審美歯科技工の世界」から始まり、各論の形態は、「天然歯の形態、歯列の形、排列」、色彩は、「天然歯の色彩、セラミックスの色彩、ハイブリッドレジン」の色彩、機能は、「接触と運動、適合、咬合器、補綴装置に働く力」、情報伝達は、「情報、プレゼンテーション」と目次だてされ、それぞれのオーソリティーが担当している。

このように歯科技工士に必要な歯科審美に関わる概念と技術の基本が総括されており、是非とも若い歯科技工士さん方に熟読を願う次第である。

今後も、歯科技工士部門として歯科審美を歯科技工士会員はもとより会員外も含めて幅広く知らしめ啓蒙していきますので宜しくお願いいたします。(副会長 齊木好太郎)

.....

歯科衛生士部門

近年、歯科衛生士を取り巻く「社会ニーズ」が大きく変化しています。

1つは、医学の進歩や医療技術の向上などにより平均寿命の延伸が図られ、医療の対象が慢性疾患(生活習慣病)へと移ってきて

います。生活習慣病は、医師を中心とした治療(Cure)から患者や家族そして医療従事者との協働により疾患とうまく付き合っていくこと(Care)が重要となります。つまり、歯科衛生士にも医療従事者中心のDOS(Doctor Oriented System)から患者中心のPOS(Patient Oriented System)への変革が求められています。

2つには、急速な高齢化の進展は、人々の生活スタイルや健康観にも変化をもたらしたことに着目しなければなりません。その結果、個々人が自己の生き方を選び、決定し、それぞれの自己実現のための健康支援、つまり、オーダーメイドの支援を求めています。

3つには、近年の研究から、歯周病と糖尿病や循環器病などの生活習慣病との関連性、咀嚼と肥満等のメタボリックシンドロームの関連性、口腔ケアと誤嚥性肺炎等の気道感染予防による全身疾患の改善など口腔と全身の健康との関連性が明らかとなり、医科と歯科との連携による保健医療活動が期待されています。そこでは、それぞれの医療スタッフの専門性を重視したチーム医療が進むなか、メディカルケアプロフェSSIONALの一員としての関わりが課題となってきます。また、従来の伝承・経験のみに依存した業務展開ではなく科学的な実証、生活者や患者の視点に立った医療技術の客観的な評価が求められています。

このような変化への対応は、まさしく「歯科審美」への対応であり、私が考える「歯科審美」とは、患者さんや人々の『健口美』=美味しく食べ、楽しく会話し、美しい笑いのある毎日をサポートする学際的な科学であり、これらを多職種と協力してサポートすることが重要です。

一方、ホワイトニングコーディネーターの認定制度は、2007年度からはじまり、歯科衛生士の会員数は、2008年658名、2009年893名、2010年1,010名と増加しています。今後、これらの認定を持つ向学心のある歯科衛生士にトータルな歯科審美に対する研修が継続的に行えるよう、微力ながら努力したいと存じます。(副会長 武井典子)

.....

表彰選考委員会

佐藤 亨会長のリーダーシップのもと、表彰制度がスタートしました。前号のニュースレターでお知らせした表彰の流れに従い、表彰選考委員会が設置され、学術関連担当副会長を選考委員長として、各賞候補者の選考中です。

5月31日の締め切りまでに、理事推薦による学会功労賞の候補者として4名の推薦がありました。

優秀論文賞については、奨励論文賞の1名の応募だけで、推薦はありませんでした。学会功労賞と奨励論文賞は次回開催の理事会までに決定し、優秀研究論文賞と優秀臨床論文賞は該当なしで報告される予定です。

優秀発表賞については、昨年の学術大会のポスター発表の中から大森かをる先生（鶴見大学歯学部第一歯科保存学教室）発表の「知覚過敏抑制材料がホームホワイトニング効果に及ぼす影響」がデンツプライ賞に選ばれ、大森先生が受賞者として決定しています。受賞者は、本年8月27日～29日に岩手県で開催される学術大会の総会で表彰される運びです。

今回、表彰制度規則が制定されて初めての受賞者選考であり、改善が必要な点もあることがわかり、より良い制度に育つことを願っていますので、会員諸兄弟のご支援をお願いいたします。
（選考委員長 宮内修平、表彰委員長 長岡英一）

.....

広報・編集委員会 ホームページ・ニュースレター作業部会

今期は佐藤 亨会長のお考えのもと編集委員会と広報関連の委員会を統合するとともに、機関誌である「歯科審美」、ニュースレター（年2回発行）にホームページを有効にリンクさせ、歯科審美の広報活動を活発に行っていきたいと考えております。

このような背景のもと、広報・編集委員会は寺田善博委員長、佐藤博信副委員長の体制となり、そのなかで「歯科審美」編集部とホームページ・ニュースレター作業部会が設置されました。ホームページ・ニュースレター作業部会は以下の構成委員（敬称略）で、活動をいたしますので、よろしく御願います。

部会長：佐藤博信（常任理事）、副部会長：橋場千織（ニュースレター責任者・常任理事）、委員：齊木好太郎（副会長）、藤沢政紀、古屋彰伸、若林一道、永留初實

さて、今期の作業部会では前期のホームページ・ニュースレター委員会委員長の黒田康子先生が多くのエネルギーを費やして準備されたホームページの全面改訂作業を実施に移すことを手始めにいたさなければなりません。このニュースレターが皆様に届く頃には、すでに新しいホームページがご覧いただけるものと思います。是非ともリニューアルしたホームページをご覧いただき、多々不備な点もあると思いますので、どうかお手柔らかにたくさんのご意見を賜りたくよろしく御願いたします。

もう一点ご報告しなければならない重要事項として、ホームページのなかに会員専用ページを設ける準備を進めております。これは齊木好太郎副会長が担当されています会員証発行と大きく関連があります。今後は会員専用ページから研修履歴の閲覧

ができるようになります。会員証発行をできるだけ急ぐとともに、8月の盛岡(安比高原)での学術大会から、会員証を使用して研修履歴の登録を始めたく考えております。こちらも時期が切迫しておりますので、ホームページで最新情報を確認の上、盛岡へお出かけの際は会員証を必ず持参されますよう御願いたします。

しかしながら、これまで研修記録につきましては今後どのように取り扱うか決まっておりませんので、今まで同様必ずご自分で保管されますようよろしく御願いたします。

最後に今回のホームページ改訂にあたりまして、佐藤 亨会長をはじめ、前任である黒田康子先生、会員の先生方、実務を担当された事務局の小塚新子さん、プランネットワークスの齋藤裕之様、多くの関係者の皆様に多大なご協力をいただきました。紙面をお借りして御礼申し上げます。今後、著作権の管理にも十分配慮していきたく考えておりますので、会員の皆様の御協力をよろしく御願いたします。(部会長 佐藤博信)



リニューアルされた学会ホームページ、是非ご覧ください。
(<http://www.jdshinbi.net/>)

トピックス

拡大視野で、安心、安全で質の高い審美治療を快適に!

愛知学院大学歯学部保存修復学講座教授(日本歯科審美学会副会長) 千田 彰



私たちの臨床に、安心、安全、質の高さが、強く求められるようになってきていることを実感します。これらに応えるには、まずは正確、精緻に術野を見ることが必要です。視野の拡大は、「好き嫌い」、「視力の良否」など当方の都合で決めるものではなく、義務、必然なのです。

視野の拡大には、顕微鏡も使用されますが、テレスコープ(双眼の拡大装置)が基本です。そして歯科の臨床作業を考えると、装置はバイフォーカル(二重焦点と視線/遠近両用の眼鏡と同様)、すなわち近い作業点とやや遠くの作業点に対応したものが最適です。私たちの術野は、歯、模型、介補者、患者全身など様々で、しかもこれらが短時間内に替わります。その度に外したり、はね上げたり、姿勢を変える必要がある装置では、大切な治療そのものが妨げられるからです。

これらには拡大装置を、1)眼鏡のフレームに取り付けるもの、2)レンズに埋め込むもの、3)ヘッドバンドに取り付けるものがありますが、私は前二者、(初めての方には)拡大率2.3倍のものを勧めます。最近は種類も増え、オーラルケア、モリタ、ジーシー、茂久田らから各種発売されています。是非お問い合わせしてください。



賛助会員一覧

相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



アストラテック株式会社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-16
Tel: 03-5775-0515
<http://www.astratech.jp>

石福金属興業株式会社

石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>



医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24 4F
Tel: 03-6903-3535
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-15
ATビル2F
Tel: 03-3437-0751
<http://www.ultradent.com/>



株式会社エイコー
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3834-5777
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>

長田電機工業株式会社

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



クラレメディカル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraray.co.jp/dental>

サンメディカル株式会社

サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒108-0074 東京都港区高輪2-15-21
高輪小野ビル3F
Tel: 03-5475-2255
<http://www.sirona.co.jp>

3M ESPE

スリーエムヘルスケア株式会社
〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1
Tel (フリーダイヤル): 0120-332329
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html>

タカラベルモント株式会社

タカラベルモント株式会社
〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1
Tel: 06-6212-3619
<http://www.takara-dental.jp>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10
Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>

Tokuyama Dental

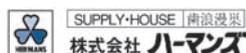
株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>

NISSIN

株式会社ニッシン
〒601-8469 京都市南区唐橋平垣町8
Tel: 075-681-5719
<http://nissin-dental.jp>

白水貿易株式会社

白水貿易株式会社
〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15
Tel: 06-6396-4400
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>



株式会社ハーマンズ
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10
若葉西ビル4F
Tel: 03-3770-0863
<http://www.hermans1984.co.jp/>

Dent Wave.com

プランネットワークス株式会社
〒104-0042 東京都中央区入船2-1-1
住友入船ビル1304
Tel: 03-3523-4188
<http://www.dentwave.com>

PENTRON[®] JAPAN INC.

ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>

髙茂久田商会

株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>

株式会社 ヨシダ

株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

サウスコーストデンタル株式会社
パナソニック四国エレクトロニクス株式会社
メディア株式会社



高い精度と充実した機能を標準装備
コストパフォーマンスに優れた
 手術用マイクロスコープ
「ブライトビジョン」

**明るく見やすい高性能レンズ
 内蔵CCDカメラ**

ブライトビジョン 3504 標準価格：1,600,000円

製造販売元：ペンタロン ジャパン株式会社
 TEL. 03-5746-0316

一般医療機器 機械器具(25) 医療用鏡 可換型手術用顕微鏡 (36354020)
 医療機器届出番号:1382X00022000033号 特定保守型医療機器



MORITA *Happy Smiles & Heartful Communication*

PYRENEES
 In-Office Teeth Whitening System

**白い歯、
 輝いていますか？**

Eriko Kumazawa

歯科用漂白材 **ピレーネ** 製造販売 三菱ガス化学株式会社

●医療機器承認番号 21800BZZ10068000 ●医療機器の分類 高度管理医療機器(クラスIII) ■標準価格 30,000円
 ◎掲載商品の標準価格は、2020年1月31日現在のもので、標準価格には消費税は含まれておりません。◎ご使用に際しましては必ずお読みください。

発売 **株式会社モリタ** 大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525
 東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161

www.dental-plaza.com



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／佐藤 亨

編集／日本歯科審美学会 広報・編集委員会

印刷／三宝印刷株式会社

日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/